

2017年4月入職

たかまつりょう  
高松 稜



## 社内外の研修に参加し、自分をアップデートし続ける

### 1分1秒を無駄にしないこと

私が日々意識しているのは、効率良く仕事を進めていくことです。1日のスケジュールを把握し、「この時間はこの仕事にあてる」という配分を考えながらキビキビと行動を起こしています。しかし、すべてが予定どおりに動いているわけではなく、その日の状況に応じて、やるべきことは刻一刻と変化します。効率的に仕事を進めることは心の余裕に繋がり、透析室全体を見渡す余裕につながります。そうすることで、突発的なできごとにもすぐに対応でき、患者さまのちょっとしたご要望に気づくことができます。提供できるサービスの時間は限られていますが、1分1秒を無駄にせず、常に頭を動かしながら物事を整理して進めることで、提供できるサービスの幅は広がっていくと思っています。

### よりよい透析環境を、自分主導で作っていく



患者さまの満足度を高めるためには、関わる者の自己研鑽も不可欠です。その一環として、研修制度を利用して学会や研究会に参加し、さまざまな治療事例を学んで自分のクリニックにフィードバックしています。ある患者さまからレストレスレッグス症候群（RLS）についてご相談を受けたときには、学会で得た知識をもとに自分で解決方法を調べ、透析条件の変更を医師に打診しました。医師は私の意見を聞き入れ、今ではその症状に対応できる環境が整備されています。ほかにもダイアライ

ザの変更や災害への対策など、あらゆる側面から患者さまの力になれるよう、学びの内容に私は境界を設けていません。

自分のアップデートという点では、思いやりエキスパートの研修に参加したこともプラスになっています。この数年、後輩の育成を担当する機会が多くなったのですが、研修を終えた今、自分の思考が以前よりも深まったと感じており、後輩育成に関してもワンステップ上に進めると実感しています。

最後に、思いやりエキスパートになる上での研修や試験、認定式などを含めると、合計で1週間ほどかかっています。これは本来、私がクリニックで勤務するはずだった時間です。私がこの研修に参加できたのは、その穴を埋めてくれた上長や同僚の協力があってこそこのことです。その方々への感謝は絶対に忘れてはいけません。



患者さまに寄り添い、  
心の声までしっかり聴ける  
臨床工学技士を目指します。  
高松 稜